



- (住所) 檀原市久米町786
- (祭神) 高皇産霊神、大来目命、天穗根命
- (交通) 近鉄檀原神宮前駅西口から
- (拝観) 境内自由
- (駐車場) あり。無料
- (電話) なし

### 久米御県神社 (檀原市)

久米御県神社(檀原市)は、畝傍山の南東にある古刹久米寺に南接し、西面して鎮座します。

祭神の高皇産霊神、大来目命、天穗根命の三柱は、古代の久米氏の祖神・遠祖につながる神様です。その久米氏は記紀によれば神武東征の際、軍事氏族として活躍し、



久米邑を賜りました。さらに久米氏所縁の「久米

舞」や「久米歌」も今に伝わっています。

久米御県神社は平安時代の「延喜式神名帳」に載る「久米御県神社三座」に充てられます。「御県」とは天皇に野菜を献上する直轄地を言い、延喜式神名帳には大和御県神社

の一つとして記載されま

すが、なぜか「延喜式」祈年祭祀詞の中にある大和国六御県神社(高市、葛木、十市、志貴、山辺、曾布)には含まれていません。

天満宮として祭られました。明治時代に神仏分離により久米寺から離されたため、久米村によって全面的にお祭りされ、当初の久米御県神社と改められ、今に至ります。

古代の久米氏の衰えにより神社も衰え、後で創建された久米寺寺域の一面に鎮守として天神社、例祭の10月第2日曜日には、久米町内の大人・子ども約60人によって、約2時間にぎやかに「だんじり」が町内を練り歩きます。

# 神武東征支えた一族ゆかり

(奈良まほろばソムリエの会会員・亀田幸英)